

# 環境厚生常任委員会

日 時 平成31年4月8日(月) 午後1時30分 ~  
場 所 第3委員会室

---

## 1 開 議

## 2 行政報告

### 【環境市民部】

(1) 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」に係る事業の進捗について

## 3 行政視察について

## 4 その他

平成31年亀岡市議会

平成31年4月8日

## 環境厚生常任委員会資料

環境市民部環境政策課

## 亀岡市における

### エコバッグ等の持参及びレジ袋の大幅削減の取組みに関する協定(素案)

\_\_\_\_\_は、亀岡市と亀岡市議会が発信した「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の主旨に賛同し、国の天然記念物「アユモドキ」をはじめとする多様な川の生態系を育む「母なる川保津川」から、地球規模の問題となっています海洋プラスチック汚染の解決に向けて、ごみを出さない環境にやさしいライフスタイルへの転換を図る取組みの一環として、レジ袋の有料化とエコバッグ等の持参によるレジ袋の大幅な削減を進めるために、亀岡市と本協定を締結し、以下の事項について連携協力します。

1 \_\_\_\_\_は、レジ袋の有料化を実施するとともにエコバッグの持参を呼びかけ、レジ袋の大幅な削減を図る取組みを推進します。

2 \_\_\_\_\_は、\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日から亀岡市内の店舗において、レジ袋の有料化を実施します。

3 \_\_\_\_\_は、レジ袋収益金(注)を地域の環境保全活動や地域・社会貢献活動等に還元するなど、環境による持続可能な地域社会の構築に向けて連携、協力します。

(注)レジ袋収益金とは、レジ袋販売代金からレジ袋納品原価、消費税及びその他諸経費を差し引いた金額です。

4 \_\_\_\_\_は、エコバッグの持参率やレジ袋の削減の効果をモニタリングし、亀岡市に報告することとし、亀岡市は、その内容を公表し、この取組みの更なる推進を図ります。

5 亀岡市は、\_\_\_\_\_のレジ袋の削減に向けた取組みを積極的に支援するとともに、エコバッグ持参率 100%を目標に、エコバッグの普及促進を図る取組みを積極的に進めます。

6 この協定の有効期限は、協定締結日から 1 年間とし、有効期限後も、協定者から脱退の申出がない限り、自動更新することとします。

なお、協定者の自由意思によりこの協定から脱退することができます。

7 この協定について疑義が生じた事項又はこの協定に定めのない事項については、必要に応じて、協定締結者で協議の上、決定することとします。

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

\_\_\_\_\_  
代表取締役

\_\_\_\_\_  
亀岡市長 桂川 孝裕

# 「世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会（仮称）」について

## 1. 概要

「世界に誇れる環境先進都市」の実現に向け、レジ袋の全面有料化協定、禁止条例の具体的内容のみならず、先進的・実効的な環境政策の具体案について、市役所・NPO・事業者らが一堂に会して議論するための協議会。

## 2. 構成団体

保津川をはじめとする自然環境・景観の保全と地域経済の活性化とを一体的に議論する際のステークホルダーとなる 30～40 団体を想定

## 3. 議題

保津川をはじめとする自然環境・景観の保全と地域経済の活性化とを一体的に議論するものとして広く設定

- (1) 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の先導的プロジェクトの具現化
  - ・レジ袋の有料化、禁止条例の具体的内容の検討
  - ・紙製／生分解性レジ袋の共同購入のしくみづくり
- (2) 「地域循環共生圏」創造に向けた取組みの検討

## 4. スケジュール

開催時期	内容
4月11日(木) 午後1時～ 市民ホール	・協議会の正式立ち上げに向けた設立総会的な位置づけ —設立趣旨、協議会の団体規約、運営方法について協議 —現在までの取り組み状況の共有 —環境省事業「地域循環共生圏」の関連説明 —スケジュールや議題の共有
5月中旬	・協議会の正式立ち上げ、本格協議の開始 —協議会の団体規約について確定 —レジ袋有料化の進捗確認、禁止に向けた具体的な協議 —レジ袋有料化・禁止に関する国内外の先進事例
6月以降、各月ま たは隔月で開催	—レジ袋有料化の進捗確認、禁止に向けた具体的な協議(継続) —「地域循環共生圏」創造に向けた各種環境政策について —その他

世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会(仮称、構成団体案)

	部 門	団体・企業名	備 考
1	住民関係	亀岡市自治会連合会(亀岡地区東部自治会・保津町自治会・篠町自治会)	
2	観光関連事業者	保津川遊船企業組合	
3		西日本旅客鉄道株式会社	
4		嵯峨野観光鉄道株式会社	
5		一般社団法人 亀岡市観光協会	
6		保津川漁業協同組合	
7		湯の花温泉観光旅館協同組合	
8	小売関連事業者	亀岡商工会議所	
9		亀岡市商店街連盟	
10		亀岡商業協同組合	
11		合同会社西友亀岡店	
12		株式会社マツモト	
13		株式会社平和堂(アル・プラザ亀岡)	
14		イオンリテール株式会社(イオン亀岡店)	
15		株式会社さとう(フレッシュバザール亀岡店)	
16		株式会社ハートフレンド(フレスコ)	
17		協同組合亀岡ショッピングセンター	
18		京都農業協同組合	
19		一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会	
20	大学	京都学園大学	
21	NPO等関係団体	NPO亀岡人と自然のネットワーク	
22		NPOプロジェクト保津川	
23		保津川の世界遺産登録をめざす会	
24		一般社団法人 亀岡青年会議所	
25		川と海つながり共創プロジェクト	
26		かめおか霧の芸術祭実行委員会	
27		NPO亀岡子育てネットワーク	
28	金融機関	京都銀行	
29		京都信用金庫	
30		京都中央信用金庫	
31		京都北都信用金庫	
32	行政等関係	公益財団法人 亀岡市環境事業公社	
33		京都府南丹保健所	
34		京都府南丹土木事務所	
35		亀岡市	

平成31年度 環境厚生常任委員会 視察先検討

○視察候補地一覧

都道府県 市区町村	人口 (30.6.1)	テーマ	内 容
神奈川県 鎌倉市	176,405	プラスチック ゼロ宣言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年10月に「かまくらプラスチックゼロ宣言」を行う</li> <li>・「かながわプラスチックゼロ宣言」を行った神奈川県と連携を図りながら、レジ袋の利用廃止・回収等を推進するとともに、プラスチック製ストローの利用廃止を求めていくことにより、ゼロ・ウェイストの実現及びSDGsの目標達成に向けて取り組みを進める</li> </ul>
徳島県 上勝町	1,547 (30.1.1)	ごみ減量の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年9月19日に、上勝町のごみを2020年までにゼロにすることを決意し、「ゼロ・ウェイスト宣言」を行う</li> </ul>
鹿児島県 大崎町	6,707 (30.3.1)	ごみ減量の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年以上にわたり「リサイクル率日本一の町」を実現</li> <li>・第2回「ジャパンSDGsアワード」にて、SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞</li> </ul>
東京都 町田市	428,740	マイボトル利 用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年に地元サッカーチームFC町田ゼルビアと協定を締結。「マイボトルキャンペーン」を実施し、マイボトル持参者にはオリジナルステッカーの配付、無料ドリンクコーナーの設置等を行う。その後もマラソン大会等のスポーツイベントで実施</li> <li>・マイボトルを持参すると割引・増量等の特典がある「マイボトルOK店」を募集し、市内飲食店と連携</li> </ul>
神奈川県 逗子市	59,750	3Rの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民協働により、家庭用生ごみ処理容器の普及事業、不用品交換市の常時開催、CD・DVD類、廃食用油など資源物の拠点回収、植木ごみの定量化・資源化事業等に取り組む</li> <li>・不用品交換市や資源物回収に持ち込みを行った市民に対して、市内公共施設の使用や地域貢献カードと交換できるエコポイントを進呈</li> </ul>
東京都 北区	350,026	レジ袋削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年6月2日に、区民・区民団体、事業者団体、区がレジ袋削減の取り組み方針を共同で表明するため、「東京都北区レジ袋削減協働宣言」を行う</li> <li>・17団体が宣言を行い、マイバッグの持参推進やレジ袋の削減に取り組む</li> </ul>
三重県 伊勢市	126,953	レジ袋削減 運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村合併前の旧伊勢市においてオリジナルマイバッグを各戸配付(平成13年度)</li> <li>・平成19年度以降、事業者と協定を結び、マイバッグ等の持参促進及びレジ袋の有料化を進める</li> </ul>

平成31年度 環境厚生常任委員会 視察先検討

○視察候補地一覧

都道府県 市区町村	人口 (30.6.1)	テーマ	内 容
三重県 四日市市	312,255	ごみ減量の 取り組み	・レジ袋の有料化や簡易包装の実施、容器包装の自己回収 など、ごみ減量やリサイクルに積極的に取り組む市内の小 売事業者と協定を締結し、「ごみ減量リサイクル推進店」とし て市民にPRする「ごみ減量リサイクル推進制度」を実施
東京都 杉並区	568,313	レジ袋有料 化条例	・平成14年からマイバッグ持参率60%を目的としてレジ袋削 減の取り組みを進め、平成20年4月に「レジ袋有料化等の取 組の推進に関する」条例を施行
埼玉県 川口市	602,452	レジ袋削減 条例	・レジ袋使用事業者、市民団体、行政の三者による川口市 レジ袋削減会議を設置し、レジ袋削減のあり方の協議を始 める ・平成20年3月に「川口市におけるレジ袋の大幅削減に向け た取り組みに関する協定」を締結し、12事業者20店舗にお いてレジ袋無料配布中止の取り組みを実施 ・平成22年には、多くの事業者が足並みを揃えて取り組み に参加し、レジ袋削減の実行性を高めるため「川口市レジ袋 の大幅な削減に向けた取組の推進に関する条例」を制定
福岡県 福岡市	1,535,123	基金による 地域住民活 動の支援	・平成17年4月に「環境市民ファンド(基金)」を創設し、基金 を活用して未来の子どもたちに美しい地球環境を残すため の各種事業(3Rの推進、温室効果ガスの排出削減、自然環 境の保護等)を実施 ・NPO法人や自治会、町内会、ボランティア団体等が自ら発 意・企画し、自主的に取り組んでいる環境活動を支援
群馬県 高崎市	374,177	火葬場	・「高崎市斎場」を平成28年度に供用開始 ・鉄筋コンクリート造、一部2階建て、延床面積7,400平方メー トル、総事業費40億円
広島県 広島市	1,195,606	火葬場	・「広島市西風館」を平成23年に開設 ・延床面積7,297平方メートル、建設費52億円 ・葬儀場を併設